

一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 25 年 8 月 23 日

議席番号 14 番

東村山市議会議長 様

質問者 土方 桂

記

番号	質問の項目と要旨
1	市職員の人事制度について
	近年、東村山市も厳しい財政運営に迫られ、人員も大幅に削減をしなければならない状況で、職員一人の業務量は増える一方で、住民ニーズや行政需要も益々高度化・多様化している。そんな状況でも、職員のやる気を維持・向上させることは、当市の行政サービスを上げるためには、必要で大きな課題であります。人事評価と目標管理について、以下、質問いたします。
	<p>1 目標管理シートと人事評価における目標設定の関係をお伺い致します。</p> <p>2 目標管理による評価を行っていますが、これは人事管理上の評価には、どの様に反映されてますか、お伺い致します。</p> <p>3 目標管理制度が本格実施した H23 年度以降、それ以前と比べてどの様な変化があったと捉えていますか、お伺い致します。</p> <p>4 今後、職員のモチベーションを上げる為に、どのようなツールを考えていますか、お伺い致します。</p>

議席番号 14番

質問者 土方 桂

番号	質問の項目と要旨
2	<p>学校教育について</p> <p>①グローバル人材の教育について</p> <p>将来を担う子どもたちは、日本の宝であります。世界で活躍できる人材育成はこれから大変重要であり、実用的な英語教育やイノベーションを生む理科教育、ICTの積極的な活用などグローバル人材育成の教育には、抜本的に拡充・充実する必要があるのでは無いかと、私は思っています。</p> <p>現在、国際的共通語となっている英語のコミュニケーション能力を、身につける事は、非常に重要な課題では無いかと思います。</p> <p>国においては、小学校の英語教育実施学年の早期化、教科化、指導体制のあり方、中学校における、英語の英語授業の実施について、検討するとされています。</p> <p>平成23年度の学習指導要領により、小・中学校の授業数の年間標準時間数が定められ、各学校では、この「学習指導要領」を踏まえ地域や学校の実態に応じて教育課程を編成されていると思います。</p> <p>小学校では、平成23年度より改正された指導要領にしたがって、外国語教育の充実の為、小学校に外国語活動を導入し、聞く・話すを中心に5・6年生に外国語活動を進めていると思いますが、その取り組み内容について、また、そのツールとして全教科のICT機器の活用について、以下、質問いたします。</p>
1	<p>外国語活動導入にあたっての経過・目的について改めてお伺い致します。</p>
2	<p>外国語活動を導入するにあたり、年間何時間の教育課程になっているか、また、各小学校の時間数は統一されていますか、お伺い致します。</p>
3	<p>小学校の授業は、中学校と違い外国語の専門の教員は居ないと聞きましたが、どの様な方法で授業を行っているか、お伺い致します。</p>
4	<p>外国語活動を導入して2年が経過しましたが、コミュニケーション能力向上など、どの様な成果があったか、お伺い致します。</p>
5	<p>外国語教育や授業全体でのICT機器の活用は、これからの児童に必要なであると考えますが、これからの外国語教育の推進やICTの積極的な活用について、どの様に考えているか、教育長にお伺い致します。</p>

議席番号 14番

質問者 土方 桂

番号	質問の項目と要旨
	<p>②安心・安全な学校環境の構造</p> <p>児童生徒の生命・身体の安全確保に加え、大規模な地震などの災害時には地域の避難所として貴重な役割を果たしている学校施設について非構造物を含めた耐震化・長寿命化などの老朽化対策は、優先的に進めていかなければならないと思っております。</p> <p>昨年、国の補正予算の活用に対し、迅速な判断を行い補助金を確保された事は、第4次総合計画で掲げている「教育関係の充実」を推進していくと、力強く感じました。平成24年度5号補正予算で繰越明許費については、今年度事業支出となりますが、小・中学校の工事期間などについて、以下質問します。</p>
1	<p>外壁改修工事・トイレ改修工事・非構造部材耐震化工事について、どの様なスケジュールになっているのか、お伺い致します。</p>
2	<p>平成24年度「学校施設環境改善交付金」を、使って同じような工事をした近隣市の状況を、お伺い致します。</p>
3	<p>今後の学校施設老朽化対策の計画について、どの様に進めていくかお伺いいたします。</p>

議席番号 14番

質問者 土方 桂

番号	質問の項目と要旨
	<p>③特別支援教育について</p> <p>平成19年4月より「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、全ての学校において、障害のある児童生徒の支援をさらに充実していくことになりました。当市の教育委員会では、平成19年3月に「障害の有無に関わらず、全ての子どもたちが、豊に暮らすことが出来る社会の実現を目指すこと」を基本理念に掲げ「東村山市特別支援教育推進計画」を策定し、今年度から第三次実施計画がスタートしました。</p> <p>教育委員会では、今年度から新しく教育支援課を設置し、特別支援教育をより一層、推進する為の方針として、評価されるべき事と思っています。</p> <p>そこで、特別支援教育の取り組みについて、以下、質問いたします</p>
1	<p>現在の特別支援学級・通級指導学級において、児童生徒の傾向、23年度と24年度を比べて、どのような事がうかがえるか、また、児童数に変化があったか、お伺い致します。</p>
2	<p>第3次実施計画の資料において、教育相談の主訴別相談件数で発達障害についての相談件数が214件と多く、他の相談件数と比べると差が歴然です。実施計画では、学級数増の検討項目はありませんでしたが、検討する必要があると考えますが、見解をお伺い致します。</p>
3	<p>就学に当たっての保護者との相談は、就学先や児童生徒に応じた支援を考える為には大変重要と思っていますが、来年度の就学相談を実施したそうですが、どのような相談があったか、また、教育支援課の初の事業でありましたが、改善点や今後に向けての課題があれば、お伺い致します。</p>
4	<p>ICT機器の積極的な活用のお考えないか、教育長にお伺い致します。</p>
5	<p>第3次実施計画を推進するに当たり、重点的に取り組んでいくと考えている内容はあるか、進捗状況の評価はどの様に行っているのか、お伺い致します</p>